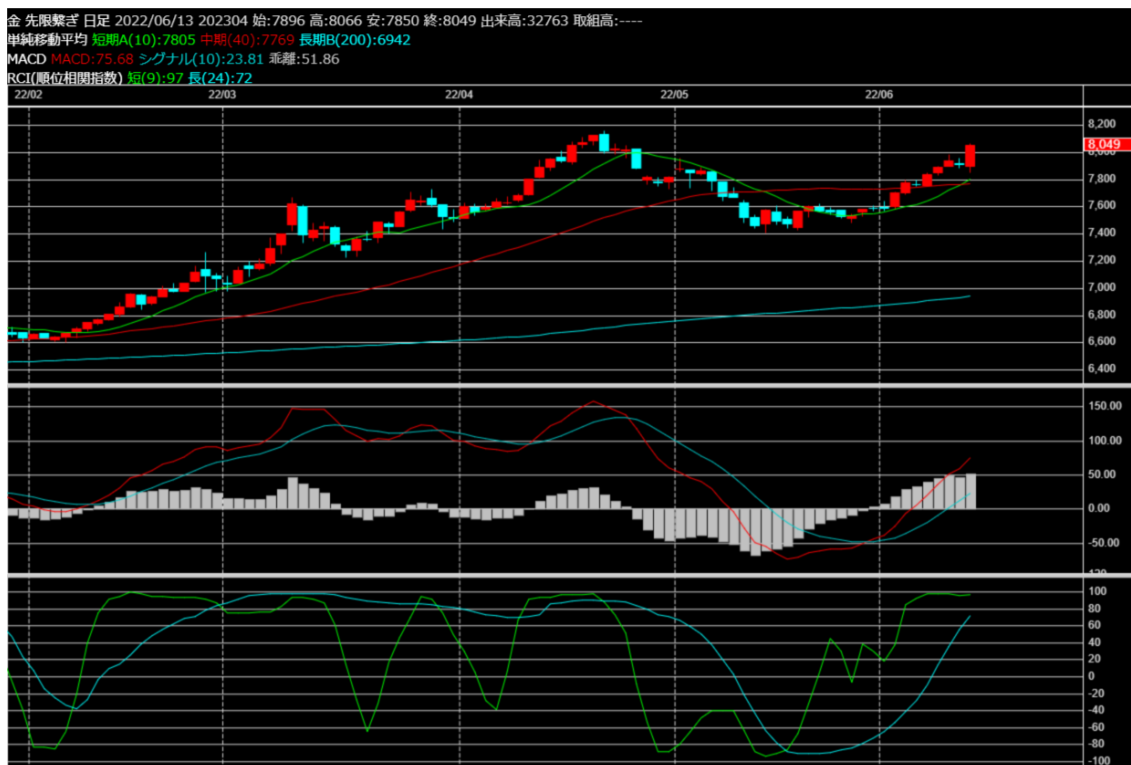


＜金標準先物、4月の高値 8160 円超えに期待・・・＞



(出所：オアシス)

週末に発表された消費者物価指数（CPI）は、前年同月比で事前予想の 8.5%と 4 月の 8.3% も上回る 8.6%なり、40 年来の最高 8.5%を上回るインフレの加速を示している。そのためインフレ高の 4 月でピークアウトの思惑が崩れている。またミシガン大消費者信頼感指数でも事前予想の 58.8 や前月の 58.4 も大きく下回る 50.2 となり、過去最低を示す結果となるなど、インフレを受けて消費者は収入が目減りし続けるとの強い懸念を示唆している結果となっている。

特にインフレの加速は FRB の思惑も外れており、市場には予想外のインフレ懸念が強まりを見せ、景気減速懸念と合わせて過度な金融引き締めもリスクが強まる事から、「金利を生まない金」にとって投資妙味が高まりを示し、巻き戻しの動きを強めている。

また 15 日には FOMC を控え、従来の 6 月、7 月の 0.5%の利上げは織り込み済みであり、更なるタカ派の発言がパウエル FRB 議長から聞かれなければ、リセッションの確率が高まりを示し、逃避の需要が金市場へと回帰する値動きが期待されるのではないかな。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** と **シグナル** が上昇を続けており、強気を示唆する動きを見せている。RCI でも **短期** が横ばいの継続を示唆し、**長期** が上昇を行っている。また日足を **10 日移動平均線** の上昇がサポートするなど、4 月の高値 8160 円を試す確率が高くなったと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 944,900 円(2022 年 6 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 6 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>